

日本政策総研 みやわき経済3分レポート(No.38)(2024.12.02)

《日本輸出・機械投資、米国住宅動向》

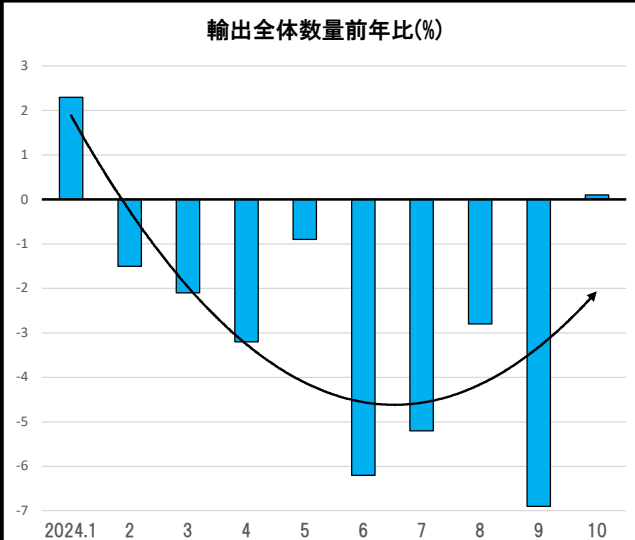
日本政策総研代表取締役社長
宮脇 淳

ご質問・さらに知りたい方は、
QRコードからご連絡ください



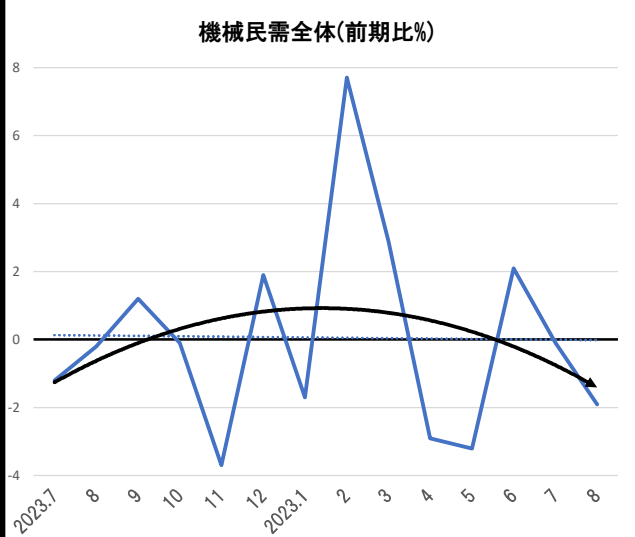
日本輸出下げ止まりも低迷

日本の輸出は年明け以降、前年に比べて数量ベースで減少を続け10月には若干増加に転じたものの、低迷状態を脱していない。主要な輸出先である、米国、EU、中国向けいずれもが減少となっている。世界経済が減速傾向にあり「財」に対する需要が低迷し、とくに半導体需要が減速していることが大きく影響している。中国経済の低迷、米国経済の減速基調、そして世界的な保護主義の流れなどから、低迷が続く危険性がある。(資料:財務省)



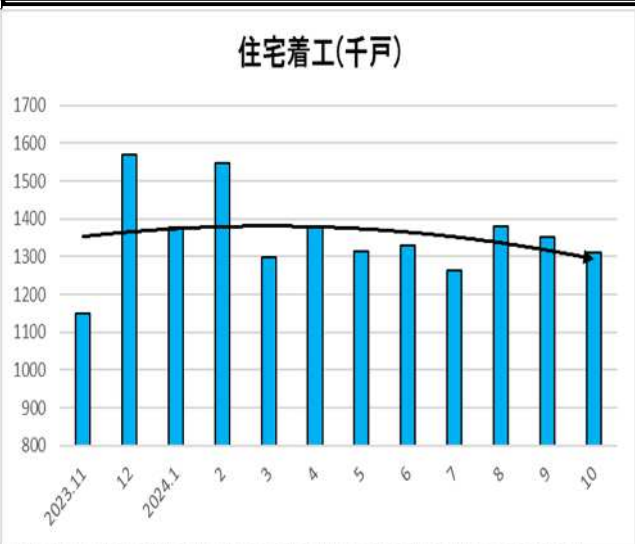
機械受注も減速

設備投資の先行指標となる機械受注も、輸出である外需を中心に減速傾向にある。機械受注は、大型受注の偏りなどから月による変動が激しいため、変化スピードを示す前月比の傾向線(黒線)を描くと、減速傾向にあることが明確となる。アジアからの受注は堅調なもの、欧米、中国からの受注は減少傾向にあり、国内の設備投資動向にも徐々に影響を与える可能性がある。今後も厳しい状況となる危険性がある。(資料:経済産業省)



米国住宅着工人手不足等影響

米国の住宅着工が底入れを探る動向にある。集合住宅建設を中心とした人手不足、そしてハリケーン等の悪天候による減少はあるものの、基調として底堅い動向と言える。とくに、一戸建ての需要については、建設業界でも楽観的な見通しが拡大しており、住宅許可件数も増加している。今後についても、所得環境が好調な中で、モーゲージ金利も低下傾向が見込まれるため、米国の住宅需要は底堅い動きと見られる。(資料:米国商務省)



内容に関するお問い合わせ : (株)日本政策総研 業務企画部

TEL: 03-3830-0611/ FAX: 03-3830-0612

e-mail: miyawaki@j-pri.co.jp

ご質問QRコードが読み取れない場合は右記URLからご登録ください⇒ URL:<https://forms.gle/H7jdEfktQ4S87nNC6>